



町政を問う
一般質問

自然の恵み 「豊富な水」による企業誘致は

町長＝水道を前面にしたトップセールスは考えていない

問

12月議会で「新事業で水道事業を安定化させ水道料金を低価格化の実現は」での質問で1日平均約500トンの針生水を針生から塩江にかけて生活用水として使用しても170トンの余剰水があると答弁を受け「その余剰水でホテルドゥオターとして販売しては」と提案した。水は様々な酒、ビール、ジュースなど多くの製品製造の材料であり、様々な製品の製造過程で冷却や洗浄などで多くの水を必要とする企業、会社、工場がいくつもありま

す。水を必要とする企業会社に対し「水を自由に使える町、安価で水が利用できる町」などで本町への企業誘致として、トップセールスする考えは

町長

本町の水道料金ほど隣町村と比較して「安価」とまでは言えず、開栓の届け出しと同様の水道の使用を開始するもので、料金もお支払いしていただくことから、「自由に使える」という表現は当たらないと思われま

す。また、町内で経済活動に水を使用している企業の中には、井戸水を自己水源として使用している例もあり、水道が企業誘致のインセンティブになるとは思いません。水道を前面に押し出したトップセールスは考えていません。



針生の自然からの豊富な水

本町観光振興に重要な
リゾートイン台鞍の休止の再考は

問

町長

町長＝高額な修繕箇所多く、休止の協議書を受け休止するから、今後の集客の見通しが厳しいなど、営業休止の協議書が提出され休止することになりました。今後、現在の状態で活用したい事業者など

スキー教室で来場されていた小・中・高校の延べ宿泊者数は、年間平均1000名程度でスキー場利用者全体の2%程度で、このスキー教室にきた子ども達が大人になり再び足を運んで観光振興に大きく寄与してくれる見込みは薄く、町が赤字を補填して営業するだけの費用対効果は得られないと

問

だいらスキー場のホテルリゾートイン台鞍が、3月いっぱいまで営業を休止する。これまでホテルに宿泊してスキー場を利用していた子供たちや他のスキーヤーに大きく影響し、大きな損害です。特にスキー教室の子供たちは大きなリピーターであり、赤字だけに注目するのはなく、長い時間軸

問

冬季間のみの営業は再開すべきでは。

問

営業は再開すべきでは。

今回の休止にあたり「株式会社みなみあい」とのヒアリングを重ね、どのような営業がふさわしいか模索してきましたが、何年もマイナス決算が続く高額な修繕が必要な箇所が多数あること立地条件、アクセス、設備など



リゾートイン台鞍の目の前はコラテンが広がる



リゾートイン台鞍（2024年3月駐車場側より撮影）